

今を未来に

1. 全国学力学習状況調査・みえスタディーチェック実施

4月18日(木)6年生が『全国学力学習状況調査(国語・算数)』、4年生と5年生が『みえスタディーチェック(国語・算数・理科)』に挑戦しました。子供たちは、問題に集中して取り組んでいました。今までに学習してきた力を発揮しようと、どの子も最後まで一生懸命に取り組む姿がとても印象的でした。

この調査は、各教科のどの分野やどの単元が『強み』なのか『弱み』なのかを明らかにして、授業改善につなげていくことを目的にしている取り組みです。学力向上には、①家庭学習の習慣化(特に復習の習慣化)②授業改善③長期休業中の継続的な学びが必要です。授業改善などにつながる取り組みは学校全体で組織的に進めています。

本年度も、3年生から6年生の算数科で少人数学習を進めるとともに、各学年とも到達目標を設定して、校内研修会などで定期的に分析や情報交換を行いながら、学力を向上させる指導の工夫につなげていきたいと考えています。

2. 家庭訪問ご協力ありがとうございました

4月22日(月)から4月26日(金)まで家庭訪問を実施しました。お子様の家庭での様子、友だちとの交友関係、家庭学習の様子などを中心にお話を伺いました。限られた時間の中では、担任と十分に話はできなかった保護者の方もみえたかもしれません。しかし、担任としては伺った内容や意見を学級経営の中で生かしていこうと考えています。

保護者の方からでてきた内容として多かったのは、次の3点でした。

- ① 交友関係について
- ② 家庭学習について
- ③ 個別の課題について

上記の3点については、個別にお話しをさせていただきました。また、②の家庭学習については、『家庭学習の手引き(配布済み)』を配布し、学校と家庭とが連携して子どもの学習習慣をつくり、毎日の生活の中に学習時間を位置づける取り組みを行っています。学力の向上は、家庭学習(特に学んだことの復習)を習慣づけることが一番の近道だと考えています。家庭学習の習慣には、保護者の働きかけも重要な要素になるので、子どもをしっかりと観察しながら、効果的な声かけを是非お願いします。

平日のお忙しい中、家庭訪問のために家事や仕事に都合をつけていただき、ありがとうございました。

3. 家庭学習の手引きを活用ください

家庭訪問でも話題になっていましたが、いくら授業で学習内容が理解できていても、家庭学習で復習をしないとすぐに忘れてしまい、学力がなかなか定着しません。そこで、配布した『家庭学習の手引き』をご家庭でも活用していただき、家庭学習(復習や予習)の声かけをお願いしたいと思います。

家庭学習は、自分で決め毎日する学習の習慣づけ、基礎・基本を身に付ける学習内容の定着、学習が楽しく興味を持つ学習意欲の向上の効果があります。宿題や独自の学習を、毎日決まった時間にするすることで、家庭学習の習慣がつくとともに、学力向上にもつながります。